

平成30年度 自己評価結果公表シート

学校法人 桔梗が丘学園

梅が丘幼稚園

1. 本園の保育目標、保育方針

◆ 保育目標(めざす幼児の姿)

「明るい子」「がんばる子」「やさしい子」「考える子」

◆ 保育方針

- ・ みつめる保育……………個性や個人の力を認め、生かす
- ・ ひきだす保育……………子どもの発想や意欲を育てる
- ・ ひろげる保育……………ひとつのことから発展や拡充を図る

2. 重点的に取り組む目標・計画

評価項目により自己点検・自己評価を実施し、幼児教育の更なる充実と発展のため、教育課程の内容を精査し教職員の資質向上と保護者のニーズを確認し、幼稚園が今後担う役割について検討する。

3. 評価項目の達成及び取組状況 (結果:5点満点の教員平均点)

評価項目	結果	取組状況
教育課程の編成	3.6	時代の変化、環境の変化に応じて、教育理念をベースにして柔軟に見直しを行った。
教職員同士の協力・連携	3.8	園児一人ひとりの理解に努めるため、お互いに情報交換するための会議を持つことにより、クラスに関係なく教職員誰もが幼児をより多面的に理解することができるようになった。
協力と支援	3.5	クラスとは幼児を中心に保護者と教師が作り上げる協働社会だという意識を大切にし、保護者から提起された問題や課題、要望などに対してお互いに支援・協力して解決することができた。

研修・研究への意欲・態度	3.2	教師は教育を提供する専門家であることを念頭に、より質の高い教育の実践を求めて、園内・園外を問わず、長期休暇などを利用して積極的に研修に参加した。
--------------	-----	--

4. 総合的な評価結果

<p>継続的に取り組むべき課題について、全教職員が共通に理解し、それぞれ自己評価し、取り組み状況を話し合うことを通して、本園としての方針を明確にすることができ、それを実践する礎とすることができた。</p>
--

5. 今後取り組むべき課題

子どもたちの観察	子どもたちの様子をよく観察して、成長や変化に気づけるようにする。その様子を日々の中での保護者とのやり取りや、懇談などで伝えるようにする。
業務改善の提案	学期ごとに学年担当で会議を持って改善案を提示し、それを実施することができるよう全職員に働きかける。
子供たちの発達にふさわしい表現力・想像力を高める	音楽・絵画・造形等、既成概念にとらわれず、発達にふさわしく高めていく。